

第 42 回 番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 30 年 7 月 11 日
2. 開催場所 Y2 ぷらざ 3 階研修室
3. 委員出席 委員総数 6 名
出席委員数 3 名

出席委員	鈴木 信好	委員長
	佐々木 隆一	委員
	菊地 清志	委員
欠席委員	岡部 えり子	副委員長
	土田 百合子	委員
	辻 正憲	委員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 6 名

鈴木 幸弘	支援室長代理
小笠原 豊	放送局長/番組審議会事務局
木匠 一公	支援室
鈴木 瀬菜	支援室
高橋 一親	支援室
細川 正実	営業部/番組審議会事務局

(1) 7月課題審議 審議番組『スポーツ&バラエティすぽこん』
(平成30年月25日日曜日 午後1時～ 放送分)

(2) その他

4. 審議事項

(1) ①審議番組『スポーツ&バラエティすぽこん』について

【委員からの意見】

- ・スポーツ全般のことをやるのであればいいが、サッカーワールドカップのことを放送するのは不自然ではないけれど、進行その他専門用語が多かった。
- ・ほかのそういう風な番組作りをしていて、こういう人にはこういうもの、いわゆる特定少数を対象にした番組作りであれば、それはそれでいい。
- ・自分はサッカー嫌いではないのでなんとなくわかるけれど、かなり技術的なことがいっぱい、みんなこれ聴いて楽しいか？と思うところがあった。
- ・すぽこんの「魂」の部分大切に、例えばGK川島が自爆するようなパンチをして心の葛藤が・・・のような部分があった方がいい。もっと「スポーツって楽しい」というのをみんなに伝えられるような放送にしてほしい。
- ・公の放送とはいえ、あまり縛られない、ローカルな肩の凝らない雰囲気が良いと思う。会話の中にリスナーも入っているような臨場感がある。
- ・パーソナリティはよく資料収集をしており、広く勉強していると感じた。スポーツに詳しいリスナーも一般的なリスナーにもわかる、楽しい話題を集めていたと感じた。初めて知ったことも多かった。
- ・この次の放送を聴きたいと思ったが、その回は聴くことができなかった。皆さんが予想したのと大きく違い、予想外の展開になった試合でどんな番組になったのか。試合結果の予想、次回の番組での話題の広げ方は、こういう番組の1つのパターン、柱になると思うので、ぜひ（大ぼらを吹くつもりで）恐れずチャレンジして行ってほしい。

《会社側からの回答》

【小笠原局長】

- ・以前から比べると、メンバーが増えたり、ゲストを呼んだり、マニアックな放送になった。
- ・不特定多数の方に聴いてもらいたいが、聴いておもしろくないと思われるよりならと鳥長さんの方でもいろいろ研究している。相撲やバスケットに詳しいひとを呼んだりしている。
- ・スポーツを楽しみと思えるような気持ちも入れていきたいと思う。
- ・チャレンジ精神を持って続けていきたいと思う。
- ・開局当初からの番組なので、改善しながら、長く続けていきたいと思う。

【佐々木委員】

- ・今回は 60 分サッカーの話題だったが、いつもひとつのテーマでやっているのか？
地元のみなさまが聴きたいようなスポーツの結果などを 10 分くらい入れてはどうか？

【小笠原局長】

- ・中学・高校の総体などについても放送することはある。また、メンバーが増えたことでコメントなども入れられるようになった。

- (1) ②その他の放送番組について
特になし

5. 意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（URL）への掲載

公表の案内 議事の概要

公表年月日 平成 30 年 7 月 19 日

6. 次回審議番組

「ア・ラ・美 JOY」（9 月 14 日金曜日 放送予定）

7. 備考

8 月、9 月は休会とし、次回は 10 月に開催予定。